



1. CK1水田 (北東から)



2. CK1水田 取水口 (北から)



3. CK1水田 稲株痕



[神奈川県教育委員会所蔵]

4. CK1水田 出土遺物

●主な調査成果

2015年から2年間で調査した範囲の報告書を作成しています。

遺跡は、台地平坦部から谷部を含む範囲に広がり、台地平坦部から谷部への斜面では、縄文時代後期(約3500年前)の竪穴住居、土坑、集石などが発見され、集落であったことがわかりました。奈良・平安時代から江戸時代までは、耕作地であったことがわかりました。

谷部は縄文時代以降、埋没が進んだことがわかりました。各時代の堆積した土砂からは土器を中心に遺物が出土しています。奈良・平安時代以降は、埋没した谷面を段切りで造成し、棚田状に連続する水田や畠が構築されたことがわかりました。水田の規模は小さく畦畔は確認できませんが、段切り直下の北西隅に取水口らしき窪みが観察できました。水田上部の堆積層からは中国の青磁碗の破片など中世前期に遡る遺物も出土しています。また水田からは稲の株痕や畑地からは馬の足跡と推定されるくぼみも観察されました。

●調査期間 2015年7月1日～2017年7月31日

●事業者 国土交通省関東地方整備局

●調査原因 一般国道246号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

●時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器

●所在地 伊勢原市上粕屋

●遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅北西約3kmの上粕屋扇状地上

